



2023年8月4日

## みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合へのLP投資について

- ・アカデミア発ディープテック・スタートアップへのリスクマネー供給
- ・地方に眠る将来性ある技術の活用
- ・機関投資家からの資金調達拡大

株式会社産業革新投資機構（本社：東京都港区、代表取締役社長：横尾敬介、以下「JIC」）は、アカデミア発スタートアップの支援に取り組むみやこキャピタル株式会社（以下「みやこ」）が運営する、みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合（以下「みやこ3号」）に対して、20億円のLP投資を行うことを決定しましたのでお知らせします。

JICは、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資の促進や投資人材の育成等を行い、我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環の創出をミッションとしています。

JICはミッション達成のため、民間ファンドへのLP投資や傘下のファンドによる企業等への投資を通じて政策的に意義のある事業分野への投資を行います。

### みやこ3号に対するLP投資について

#### （1）JICの投資基準

JICの投資基準\*では、「Society 5.0に向けた新規事業の創造の推進」や「地方に眠る将来性ある技術の活用」等が重点投資分野として挙げられています。具体的には「AI、IoT、ロボットといった第四次産業革命に関する技術の社会実装の他、バイオ・創薬・ヘルスケア、モビリティ、宇宙、素材、電子デバイス等の国際競争力を持ちうる事業分野」に対する長期かつ大規模なリスクマネー供給が必要とされています。また、事業化により高い収益を期待できる技術を有するものの、事業としての成長機会を十分に与えられていない、地方のアカデミア発スタートアップ等の資金需要に対応するためのリスクマネー供給が必要とされています。

※<https://www.j-ic.co.jp/jp/investment/criteria/>

#### （2）投資分野の現状

ディープテックに取り組むスタートアップ支援においては、大学発の科学的な研究や革新的な技術開発の成果の商用化を目指すアカデミア発スタートアップの創出支援が必要となります。他方、近年、産学連携を後押しするファンドが設立されているものの、日本におけるアカデミア発スタートアップに対するリスクマネー供給は依然として限定的です。

### (3) みやこ3号について

みやこは京都大学の連携ファンドとしてアカデミア発スタートアップや、ライフサイエンス・医療、IT・エレクトロニクス、環境・エネルギー等を中心としたディープテック領域において豊富な支援実績があり、3号ファンドにおいても同投資戦略を継続する方針です。また、3号ファンドではアカデミア発の技術を中心に、シード・アーリーステージにおける支援に注力することになります。

みやこは京都大学をはじめとした国内外の大学との連携を強化し、地方に眠る技術シーズの掘り起こしに積極的に取り組んでおり、みやこ3号においてもみやこが有する大学や研究機関等との連携関係を活用し、地方大学を含む有望な大学発スタートアップへの投資を行う方針です。

JICはみやこ3号へのLP投資を通じ、アカデミア発スタートアップへのリスクマネー供給を行うとともに、民間投資資金の呼び水となることを目指しています。また、京都を中心とした地方における技術系スタートアップに対するリスクマネーの供給により、地方のスタートアップ・エコシステムの発展・醸成への貢献に繋がることを期待しています。

加えて、JICはみやこに対して機関投資家を意識した体制整備等の支援を行うことで、機関投資家からの資金調達の拡大を企図しています。

### <みやこ3号>

名称 : みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合  
設立 : 2023年  
存続期間 : 10年間（最長3年間の延長が可能）  
GP : みやこCM3有限責任事業組合

### <運用会社概要>

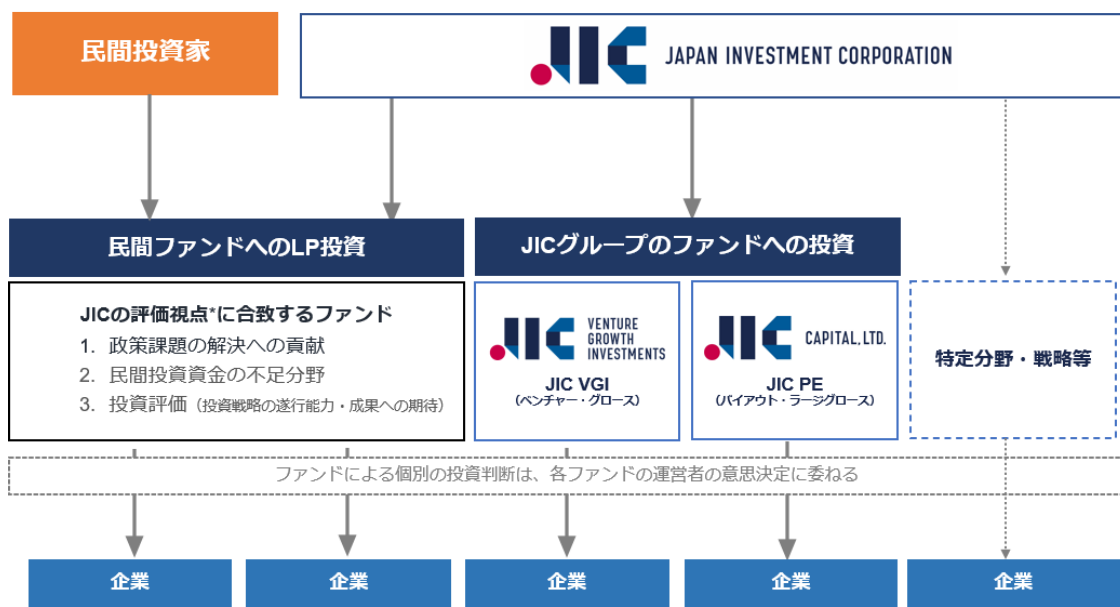
名称 : みやこキャピタル株式会社  
設立 : 2013年  
所在地 : 京都府京都市  
代表者 : 代表取締役社長 岡橋寛明

(参考) JIC のファンド投資戦略

## JICの投資戦略図



経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンドへの投資を通じ、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力の強化に向けたリスクマネーを供給します。



\*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

(C) JIC. All Rights Reserved.

(参考) JIC の LP 投資のねらい

(1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネー供給の「呼び水」

産業競争力強化の観点から重要であるものの、民間投資資金が不足している分野（投資戦略、セクター、ステージ、地域等）への資金供給を行い、短期及び中長期的な民間投資資金の「呼び水」となることを企図します。

(2) リスクマネーの好循環を支える多様な投資チーム・投資人材・投資戦略の創出

①投資チーム

JIC からの投資を通じて、ファンドの運用チーム（運用会社）の経験値とトラックレコードを積み上げ、投資家への対応力を上げることで、次号ファンド以降機関投資家（年金・海外投資家等）からのリスクマネー一仲介の担い手としての成長を促進します。

②投資人材

JVCA（一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会）等の業界団体、機関投資家、投資先運用者の協力を得ながら、運用者におけるベストプラクティスの研究・導入、投資人材の育成を支援します。

③投資戦略

日本に定着している戦略以外の戦略でも、ファンド設立等に対し JIC が LP 投資することで市場に多様性と厚みを付加します。

### **株式会社産業革新投資機構（JIC）について**

JICは2018年9月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JICは、Society5.0に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへのLP投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

<本発表資料に関するお問い合わせ>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電話：03-5532-7086（広報直通） URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>